

令和7年6月9日

令和6年度 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会
議長 野村 昌広

学校関係者評価委員会は、令和6年度 自己点検・自己評価報告書に基づき、学校関係者による評価会議を実施しましたので、以下のとおり報告します。

1. 開催日時

令和6年6月9日（月）

2. 開催場所

名古屋理容美容専門学校 1F

3. 学校関係者（評価者）

野村 昌広	株式会社リジェール	代表取締役
山田 高敬	ドレスグループ	代表取締役
新家 節之	経営コンサルタント	代表取締役
古居 利雄	株式会社ハグエバック	代表取締役

4. 報告者

校長	榑原 晶恵
事務長	川口 清成
教頭	大島 久美

5. 会次第

- 1) 開会宣言
- 2) 議長 挨拶
- 3) 資料の確認
- 4) 委員の紹介
- 5) 自己評価結果報告
- 6) 評価結果・意見交換
- 7) 閉会宣言

6. 評価会議の概要

本校は、学校の質保証と向上を目指して「学校自己評価」を行っている。

具体的には、教職員等による「自己評価」と、「学生による学校満足度の調査」・「授業アンケートの集計」を行い、学校が抱える課題の明確化と改善を図っている。

本校では、この「自己評価」に加えて、組織的で継続的な教育活動の改善とキャリア教育の充実を一層図るため、外部の有識者に参加頂いた「学校関係者による評価会議」を開催し、指導・助言や提言を頂いている。

当日は、学校からの報告、評価会議の順に進めた。会議では、学校の特徴的な取組などを各担当から説明した後、評価者から意見、改善すべき点、提言等を伺った。

<学校関係者による意見、提言等>

【評価基準】 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

(1) 教育理念・目標 評価結果：4

- ・教育理念・目的は入学前のオリエンテーション等による周知がなされており、教員の指導もそれに沿ったものになっている。
- ・教育理念・目標については、全ての項目で基準を満たしている。

(2) 学校運営 評価結果：4

- ・3月に事業計画を作成、学校運営、教育活動、就職活動等の運営方針を決めている。
- ・事業計画は、年度初めに教職員会議等で周知徹底し、進捗管理を実施している。
- ・学校運営については、全ての項目の基準を満たしている。

(3) 教育活動 評価結果：4

- ・理・美容業界、各所方面と連携を密にし、理容師・美容師養成施設として教育活動を行っている。
- ・教職員の研修を増やし、特に教員の知識、技能を習得するための研修を増やしている。

(4) 学修成果 評価結果：4

- ・校内外ガイダンス、就職支援システムを導入し、学生がより視野を広げて就活に取り組んでいる。
- ・国家試験合格については全員が合格できるよう昼間課程だけでなく、通信課程も対策を遂行していく。
- ・業界としても離職に関して非常に気になる部分であるため、在学中に離職率の低減を図る取り組みを更に努めてほしい。

(5) 学生支援 評価結果：4

- ・W取得する学生が増え、取得しやすい環境の整備が整っている。
- ・職業講話等で理容師・美容師のW取得について意義や理解をより深めたい。
- ・在校生だけでなく、卒業生に対しても再就職のための情報提供など、幅広い支援を行っている。

(6) 教育環境 評価結果：4

- ・後援会サロンとの産学連携の取組みにより、学生だからできることや、将来に繋がることをイメージさせる導入が必要と考える。
- ・避難訓練・防災訓練を年1回実施し、「帰宅支援グッズ」を校内で管理するなど、防災に対策がされている。

(7) 学生の受入れ募集 評価結果：3

- ・学生募集活動は愛知県専修学校各種学校連合会の規定に沿って適正に行われている。
- ・学生募集について時代の変化に伴い、新しい方策も考える。

(8) 財務 評価結果：4

- ・学校教育法の定める財務情報をホームページで公開している。
- ・外部による会計監査が適正に行われている。

(9) 法令等の遵守 評価結果：4

- ・法令等遵守をしており、適切に運営されているため最善な状態を保つ。
- ・管理責任者の厳格な管理と、全教職員の法令遵守をお願いする。

(10) 社会貢献・地域貢献 評価結果：4

- ・適切に行われている。
- ・職業体験や職業教育は、業界と学校の発展にも大きく関わる事であり、積極的に受け入れをお願いする。

7. 学校関係者による総評

令和6年度の名古屋理容美容専門学校の自己点検・自己評価報告を拝見し、各項目の詳細を委員にて点検しました。

あらためて理・美容業の技術指導を通して、教育理念「高い志を持ち、社会貢献を喜びとする人を育てる」の教育の場があると実感いたしました。

理・美容師の職業はお客様の髪のカット、カラー、パーマ等の「技術」が、「芸術性」、「創造性」な仕事に繋がります。

その中で、理・美容業界としての在り方やマナーを身につけることを主軸とし、教員の適切な指導の積み重ねている結果、一定の成果が出ていることが誠に喜ばしいです。

更なる飛躍のため、来年度も教育の質が上がることを期待いたします。